



広島市内205薬局 無料検査キットを配布

県が4月から実施するPCRモニタリング検査は、広島市の薬局で検査キットを受け取り提出日を予約。当日、唾液を採取後13時までに薬局に提出します。

日本共産党は1月の第7次要望で「県民が身近な場所で、安心して検査を受けられる条件を」と要望。

多くの市民の方から喜ばれています。



こんにちは
日本共産党

辻つねお県議会ニュース

日本共産党県議会議員

辻つねお

みなさんお元気でしょうか。

日本共産党、県議会議員 辻つねおです。

全国的に新型コロナウイルス感染のリバウンドが進み、変異ウイルスの広がりも心配です。

私はコロナ対策を委員会でも度々取り上げてきました。

県はいま感染拡大の予兆を探知するため、全県民を対象にPCRモニタリング検査を実施。全国的にも注目されています。この検査で感染拡大の予兆を察知すれば、直ちに大規模検査に入るべきです。

「第4波」は何としても封じ込めなくてはなりません。

県民の命と暮らしを守るために、今後も全力で頑張ります。

四月五日記

コロナ対策

大規模検査で第4波の封じ込めへ

新年度・2月補正予算で実現

- ① 高齢者・障がい者の入所施設職員に抗原検査またはPCR検査。月1回→月2回に増加。
新たに入所者に抗原検査実施。 13億円
・職員 18700人×2回×4カ月
・入所者 27000人(475施設)
- ② PCR検査数の引き上げ 3億2200万円
1日当たり5700件に
・県内公的・民間機関 3400件/日
・県外の民間委託 2300件/日
- ③ クリニックでのPCR検査が無料になるよう、助成を継続(検査料の自己負担分) 4500万円
- ④ 全県民の対象のモニタリング検査(4/1~) 5億9800万円
- ⑤ コロナ患者病床数 121億4500万円
・想定200→500床に(4カ月)
- ⑥ 軽症者の療養宿泊施設 35億7000万円
・想定700→1400室(4カ月)
- ⑦ 患者受け入れ病院の設備整備・医療従事者の宿泊施設の確保など 1億2200万円
・宿泊施設確保数 450人
・消毒費用補助対象数 30施設
- ⑧ 帰国者・接触者相談窓口設置事業 3億9300万円
・コロナ相談コールセンター 16回線に
・相談職員等22人の配置
- ⑨ 感染拡大防止支援事業 1億7800万円
医療資材のひっ迫に備え、備蓄・配送
- ⑩ コロナ患者に対応する医療従事者に特殊勤務手当支給 6億3000万円
1日3000円または4000円を支給。
医療機関45→249カ所に増加



生活福祉保健委員会

辻議員が奮闘

コロナ対策で多くの前進

新型コロナウイルス感染対策で、辻議員は、県民や医療団体市民から寄せられた要望などを生活福祉保健委員会で質問。新年度・2月補正予算では、多くの要求を実現しています。



無料法律相談

毎月第4金曜日 午後6時30分~
辻つねお県議に
事前にご連絡ください
☎ 090-3632-7388
生活相談はいつでもご連絡ください

辻つねお 日本共産党

県議会ニュース

2021年4月15日 No. 7 4
発行 辻つねお県議事務所
福山市東町2-3-2 3
県庁・議会控室 TEL 082(228)6577
082(223)2034
ホームページ <http://kyodo-support.com/tuji/>
Eメール t-tsuji@gikai.pref.hiroshima.jp
辻県議携帯電話 090-3632-7388

県政についてのご意見・ご要望をお寄せ下さい

3月15日

大規模PCR検査はいつでもできる準備を

辻議員は、2月に広島市中区で実施したPCR検査(6573人受検・陽性4人)を評価した上で、「大規模検査は、必要と判断したらすぐできる準備を」と要求しました。

県は4月1日から、全県民を対象に無症状者のPCRモニタリング検査を実施しています。

感染拡大の予兆を早期に探知することが目的で、兆候が見られた時は、感染者の多い地域で集中的に検査を実施。いずれも無料です。

① 県内5カ所(広島市2カ所、東広島市、福山市、三次市)のPCRセンター

② 広島市内の薬局で唾液PCR検査キットを配布。(左上記事参照)

介護・障がい者施設職員の検査 月1回→2回に

高齢者や障がい者が入所する施設職員の定期検査が、月1回から2回に増やされました。入所者についても抗原検査が実施されることに。

辻議員は要望書も提出し、委員会で質問しました。今後、訪問・通所施設職員の定期検査も要望していきます。

保健師が10人増員

新年度予算で保健師が10人増加されます。保健師の増員が急務だ」と要望。

辻議員は昨年6月の委員会でも、「保健師はコロナ対策で多忙を極めているのは初めてです。



クリニックでの無料唾液検査が継続

新年度予算で、クリニックでの唾液によるPCR検査が無料になる助成が継続されます(初診料は自己負担)。

現在、1155施設(全市町)で実施。昨年度以降、「身近な場所で検査がつけられるように」と、辻議員は市町の議員と一緒に要求してきました。